

報道機関 各位

平成17年3月3日
国立大学法人 広島大学
情報化推進部情報企画課長

地域産業と広島大学の共同開発プロジェクト ヘルスケア機能製品の商品化と販売に向け、 新連携名とロゴマークを決定

広島大学大学院医歯薬学総合研究科の杉山政則教授を中心とする産学共同プロジェクトは、同プロジェクトから生まれるヘルスケア機能製品の商品化と販売に向け、新連携名とロゴマークを決定しましたのでお知らせいたします。

新連携名は「ビオ・ユニブ広島」、ロゴマークは別紙のとおりです。今後、プロジェクト発のヘルスケア製品にはすべて、このロゴマークを「技術の裏付け」として使用していきます。

広島県では、現在、文部科学省の知的クラスター創成事業の委託を受け、産学官連携により、健康増進を指向する新たなバイオ産業を創出するための7つの研究プロジェクトを推進しています。

その一つ、杉山政則教授を中心とする共同開発プロジェクト(杉山プロジェクト)では、広島県内にある食品製造会社の参加を得て、酒粕と乳酸菌をキーワードとするヘルスケア機能製品の開発を進めています。すでに、入浴剤と植物乳酸菌ヨーグルトについては販売を開始し、多くの消費者から好評を得ています。さらに、新しいコンセプトに基づく乳酸発酵製品の開発を推進しています。

その際、参加企業が連携し、互いに技術や販売ルートを補完することができれば、その相乗効果により、各ヘルスケア機能製品の販売がさらに拡大され、企業および製品の知名度が向上する他、一企業では考えつかなかった新たな製品の開発も期待できます。このため、杉山プロジェクトは、経済産業省の平成16年度新連携対策委託事業の補助金を受け、マーケティングコンサルタント会社のアドバイスも得て、新連携の枠組みについて検討してきました。その結果として、杉山プロジェクトから生まれてくるヘルスケア製品群を表象するために、まず、新連携名およびロゴマークを決定しました。

なお、杉山プロジェクトの研究成果は、3月7日(月)及び8日(火)に、広島県立広島産業会館(広島市南区)で開催される「中国地域クラスター合同成果発表会(併催:ちゅうごく先端的医療機器等産業クラスター創出フェア)」において、ロゴマークと共に発表しました。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授 杉山政則
TEL 082-257-5280
広島県産業科学技術研究所 科学技術コーディネーター 三宅哲雄
TEL 090-1015-5678

[発信枚数;A4版 2枚(本票含む)]
○[ロゴマーク](#)

地域産業と広島大学の共同開発プロジェクト

バイオ・ユニブ広島

ロゴマーク コンセプトシート

広島大学大学院 医歯薬学総合研究科の杉山政則教授を中心とする産学共同プロジェクトから生まれた製品について、広島大学発の研究成果であることを明示するネーミングおよびロゴマークを制定しました。

ロゴマーク



添付フレーズ

広島大学はバイオ技術の宝庫。
この製品は大学院杉山政則教授のプロジェクトから生まれました。

- ◆「バイオ・ユニブ」は「Bio=Biology (生物学)」と「Univ.=University (大学)」を組み合わせ、「生物学をベースにした大学発の産学共同プロジェクト」の意味を表現した造語です。プロジェクトリーダー・杉山教授がパリ・パスツール研究所に在籍したキャリアを持つこともあり、ネーミングは「バイオ」というフランス語読みとします。
- ◆広島大学のマーク、および「Hiroshima」を組み合わせることで、プロジェクトの“故郷”を強調。今後、プロジェクトが全国規模で拡大した場合の広島県の知的情報発信基地としてのステータスアップを意識しています。
- ◆自然を対象にした「生物学」であることを、化学の無機質性との違いで表現するため、手書き風のオリジナル書体を使用。同じ意図でグリーンをベースカラーとしました。グリーンは広島大学のイメージカラーでもあります。
- ◆今後、プロジェクト発のヘルスケア製品にはすべて、このロゴマークを「技術の裏付け」として使用していきます。